

千年前の面影を残す田園風景，世界農業遺産の郷 田染荘

— 大分県豊後高田市 —

(株)三祐コンサルタンツ 渡邊圭四郎

1. はじめに

表紙写真の田染小崎地区は大分県豊後高田市にある郷である(図-1)。平安時代に宇佐神宮の荘園・田染荘として発展した地域を擁する豊後高田市には、自然と人々の暮らしが融合した農村風景が今もなお色濃く残っている。また、国東半島に広がる寺院群「六郷満山」の神仏習合を特徴とする「六郷満山文化」と呼ばれる宗教文化を花開かせた。この文化は、国宝の富貴寺大堂、真木大堂の国指定重要文化財の大威徳明王像や、熊野磨崖仏などの文化財をはじめ、点在する数多くの石塔や野仏などに大切に受け継がれている¹⁾。



図-1 豊後高田市田染小崎地区の位置図

2. 田染小崎地区の農村景観

田染地区は国東半島の南西部に位置し、宇佐神宮の根本荘園の一つ、田染荘に関連する遺構や、六郷満山による優れた宗教文化を今に伝えている。なかでも、田染地区を構成する地区の一つ田染小崎地区は荘官・田染氏の屋敷跡などがあり、田染荘の中心として知られ、今では「田染荘小崎」と呼ばれて親しまれている。

岩峰に拓かれた僧侶たちの修行場「夕日岩屋」からは、曲線が美しい古い形の水田(写真-1)や、鎌倉時代の屋敷跡が多数見られる台蘭集落の様子(写真-2)が一望できる。この景色は元禄年間の作と伝わる田染荘の村絵図と比較でき、数百年の間ほとんど変化がないといわれる²⁾。

田染小崎地区は、水田や周囲の景観が昔のままの姿で守り受け継がれている「田染荘小崎の農村景観」として2010年に国の重要文化的景観に選定され、翌2011年にはユネスコのプロジェクト未来遺産に登録された。

また2013年には、少ない水資源を効率的に活かすための「ため池」と「クヌギ林」の循環型農林業のシステムが高く評価され、国東半島・宇佐地域は世界農業遺産(GIAHS)に認定されており、千年前の面影を残す田染小崎地区はその重要な構成要素となっている³⁾。

田染小崎地区では「田園空間整備事業」を実施する



写真-1 曲線が美しい水田



写真-2 鎌倉時代の屋敷跡が残る台蘭集落

ことにより、水田の形状をそのままに残し、地域の景観等に配慮した整備が行われている。

3. 田染地区の名所・文化財

六郷満山の宗教文化が栄えた田染地区には多くの文化財が残されている⁴⁾。

(1) **富貴寺大堂** 富貴寺は、平安時代、宇佐神宮の大宮司家の菩提寺として開かれたとされる。なかでも国宝の富貴寺大堂は九州最古の木造建築物であり、内部にある国指定重要文化財の木造阿弥陀如来坐像や大堂壁画により、極楽浄土の世界が表現されている。境内には石造文化財が多くあり、国の史跡にも指定されている。

(2) **真木大堂** 六郷満山随一の大寺院伝乗寺にあったと伝わる真木大堂には、優れた仏像群が残され、収蔵庫内の9体の仏像はすべて国指定重要文化財である。なかでも木造大威徳明王像は日本最大の^{またが}もので、牛に跨る姿から家畜の病気を防ぐといった信仰の対象になっている。

(3) **田染耶馬** 凝灰角礫岩の風食によって形成される独特の岩峰は、国東半島のさまざまな場所で見ることができる。田染地区では、田染三ノ宮八幡社の前を流れる川の対岸に聳える奇峰が景勝地「三ノ宮の景」として有名である(写真-3)。



写真-3 風食によって形成された三ノ宮の景

(4) **熊野磨崖仏** 熊野社参道の石段の先には、国指定重要文化財かつ国指定史跡であり、日本最大級の磨崖仏・熊野磨崖仏が聳えている(写真-4)。

高さ7mほどの大日如来像は平安時代の作で、崖から浮き出たような姿は国東半島独自の姿とされる。不動明王像は高さが8mを超え、鎌倉時代の作であり、柔和な表情が不動明王らしからぬ風情である。

4. おわりに

田染小崎地区では11~2月にイルミネーションイ



写真-4 日本最大級の磨崖仏・熊野磨崖仏

イベントである「千年のきらめき」が実施されている(写真-5)。山間の広大な水田のあぜ道には、ボランティアの手により約1万個のソーラーLEDライトが設置され、期間中点灯する。点灯時間は日没から約3時間で、ライトは黄色と緑色の2色が30分おきにゆっくりと切り替わり、幻想的な世界を体験できる。

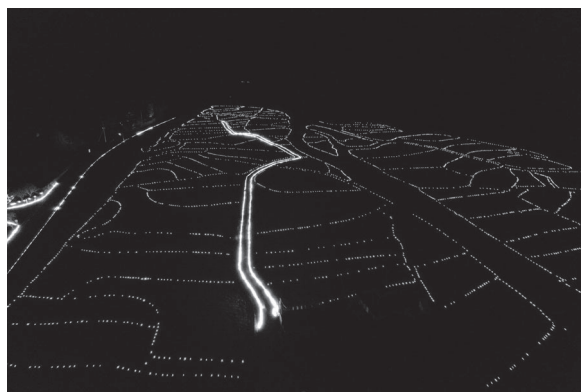


写真-5 イルミネーションイベント

引用文献

- 1) 大分県農林水産部おおいたブランド推進課：六郷満山文化が息づく里, Theおおいた, <https://theoita.com/sanpinintro/3478/> (参照2022年11月13日)
- 2) 全国文化的景観地区連絡協議会：田染荘小崎の農村景観, <https://www.bunkeikyo.jp/landscape/landscape-375> (参照2022年11月13日)
- 3) 全農：中世の荘園の姿を遺す田染荘, AGRIFUTURE No.99, <https://www.minoriminoru.jp/agrifuture/vol099/closeup/01.html> (参照2022年11月13日)
- 4) 豊後高田市教育委員会：国選定重要文化的景観 田染荘小崎の農村景観, <https://tashibunoshou.com/documents/pamphlets/pamphlet.pdf> (参照2022年11月13日)